

## 整形外科

### (スタッフ)

部長 : 東 努  
部長 (リハビリテーション科) : 井上 博文  
副部長 : 杉谷 勇二  
: 野谷 尚樹 (3月まで)  
医師 : 膳所 大亮 (4月から)  
: 福澤 かおり (4月から)  
嘱託医 : 膳所 大亮 (3月まで)  
専攻医 : 五所 真之輔 (4月から9月まで)  
: 立園 祥平 (10月から)  
非常勤 (第1, 3火曜日午後) : 岩崎 達也  
(水曜日) : 安部 玲

2019年4月からは大分大学からと長崎大学からのスタッフで診療に当たっています。常勤6名で5名が日本整形外科学会専門医です。非常勤で大分大学と別府発達医療センターの医師による小児整形外科専門外来も対応しております。

2022年度に当科で研修した初期研修医：後藤悠希、小畑天義、福田貴仁、黒瀬友哉、中村裕太、安部さやか

### (診療実績)

8階西病棟定床35床。小児は4階西病棟(小児病棟)にお世話になっています。

2022年の手術数は426件(表)でした。

コロナ対応のため病床制限を強いられた期間があり、前年より減少しています。高エネルギー外傷、精神医療センター関連の外傷は他科と連携しながら継続して対応しております。

2022年4月からは水曜日の一般外来も開始しております。

### (研修・教育)

幸い整形外科を研修する研修医が多く、救急などの対応に活躍しています。

研修は整形外科一般的な研修を行っています。整形外科を目指す研修医は、整形外科的な研修(外来診察、腰椎麻酔、指導医の元での手術)を追加しています。

### (今後の方向性)

外傷手術(骨折など)、関節外科、脊椎外科の3本柱を基本とし、小児科(小児整形外科)、形成外科と連携した診療を行っていきます。救命救急センターに関連した症例が増加傾向で、バックアップ科としての対応のため整形外科スタッフの増員に努力していきます。地域連携パスなどの活用、軽症救急患者の近医への紹介など、病診連携を引き続き推進します。

(文責：東努)

表 手術症例

(単位：例)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
骨折観血の手術	187	219	148	179	160
一時的創外固定	4	12	9	6	5
人工股関節置換術	44	18	38	34	27
人工膝関節置換術	14	19	30	20	24
人工骨頭置換術	46	41	45	48	34
インプラント周囲骨折	3	1	4	4	0
脊椎手術 腰椎・胸椎	29	39	32	31	35
脊椎手術 頸椎	6	14	12	14	8
膝関節鏡手術	4	1	7	3	3
腱鞘切開	4	11	8	5	7
手根管開放	17	17	11	13	9
神経移行	4	7	3	2	1
神経剥離	0	0	2	2	0
四肢切断	2	3	6	4	1
その他	123	201	121	122	112
合計	487	603	476	487	426